

シルバー 磐石 井

令和3年8月15日

第42号

発行

(公社)一関市シルバー人材センター
会報編集部

〒021-0031

一関市青葉二丁目1番36号

TEL (0191) 26-3760

FAX (0191) 26-3750

E-mail: ichinoseki@sjc.ne.jp

URL: <http://www.webkic.co.jp/ichi-sjc/>



山吹棚田から遠く望む室根山 地域の宝を眺めコロナに勝とう！

いつまでも
働く喜び
無事故から

この涼やかな眺望は、大東町の山吹棚田から室根山を望んだ景観です。

大東町の山吹棚田は、一九九九年に農林水産省が選定委員会を設け、都道府県から推薦された棚田の中から、岩手県では唯一「日本の棚田百選」に選ばれました。

北側の森の中から、絶えず清流が湧き出でて棚田に注がれ、自然の中の湧き水で育まれたお米の味は正に美味で、この景色の中で大東の特産である山菜と一緒にいただく、「うまい！」という歓声が聞こえてくるようです。

この眺めと、そよぐ涼風と、山の幸との調和。それは正に、大自然が与えてくれる最高の恵みの一つです。『生まれてきて良かったあ!!こんなに気持ちよくて、こんなに美味しくってえ!!』私はここで棚田のコメのおにぎりと山菜の天ぷらをいただいたことがあるんですよ。いや最高！

理事長挨拶



令和三年度総会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本来であれば一関市長様をはじめ一関公共職業安定所長様のお二方をお迎えし、また、当センター事業の運営に長年に亘ってご尽力賜りました会員及び役職員の方々の表彰等も計画してございましたが、オリンピックを控えた二〇二一年度新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に対する日本国内蔓延防止のための「三密」防止の指導」に基づいて総会を書面議決にて執り行うことといたしました。

また表彰式につきましては、すでに順延を行い変則ではございますが各支所単位で会食無しの授与式を執り行いました。なにとぞご理解賜りご承引くださいますようお願い申し上げます。

さて我が国の高齢化率は既に二八・七％に達しております。そして将来推計の二〇四〇年には三五・三％まで上昇することが見込まれております。こうした超高齢化社会において、高齢者の就業は政策上の課題になっているのは自明の理でございます。それだけに、高齢者の就業・社会参加を通じて地域に貢献するシルバー人材センターに対する期待と役割は大きなものとなっております。

『日本経済は、息の長い拡大を続けている。今回の景気上昇は、八五〇八六年の円高不況から八六年十一月を谷として、回復に転じたところから始まった。これまでに三年半を経過し、(中略)本年六月には、四十二ヶ月続いた(中略)、これ以上長く続いた景気上昇局面は、戦後最大の「いざなぎ景気」があるのみとなった。』と総括しておられますが、当地方の感覚ではまだまだの感がございます。

このような現状から脱却するため、県連合会からの指導に基づき、請負から派遣への組み換えも実施し、大胆な発想の切り替えも必要であります。そのためには、国の補助事業を

活用しながら、会員の拡大に力を入れ、特に女性会員の拡大と就業機会の確保が求められており、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を市と連携して展開してまいります。

併せて、一関市と締結しております「空き家等の適正な管理の推進に関する協定」を生かした事業展開にも取り組んでまいります。

終わりになりますが、令和二年度の契約実績は対前年度比三・〇％増となっております。過去にあつてはマイナスの時もあり、向上きに改善したことは、会員・役職員の努力の結果であり、今年度もご奮闘をよろしくお願いしたいと思います。

最後になりますが、近ごろ小さな不注意からの事故が増える兆しが予感されますことから、お願いがございます。これから、夏場にかけてジリジリした日が続く等、想定外の労働環境も、予想され

ます。

体調管理には十二分に意を配し「安全第一」を念頭に、そして健康に十分気を配られて楽しく充実した生活を送られるようご祈念申し上げます。

令和三年度 定時総会

令和三年度定時総会は、新型コロナウイルスの変異株の猛威により、前年に引き続き「書面議決による総会」を余儀なくされました。この決定については、理事会で総会の開催方法が審議され、書面議決での総会が決定されたわけです。

令和三年度定時総会における書面議決の結果は、

会員総数 四百九十一名
書面議決数 四百二十八名
第一号 令和二年度事業報告
賛成四百二十四名 反対四名
第二号 令和二年度収支決算報告
賛成四百二十五名 反対三名
第三号 定款の一部変更について
賛成四百二十五名 反対三名
となり、全議案が承認されました。



令和二、三年度 理事会開催

令和二年度 第六回理事会

令和三年一月二十一日午後一時三十分からセンター会議室で、第六回理事会が開催されました。

主なテーマとしては、「個人情報保護」に関する話題が取り上げられました。これは、岩手県シルバー連合会からの指導に応えたものであり、そこでは毎年、役員等への個人情報保護に関する研修を行うこととされています。

一関市シルバー人材センターでは、「個人情報保護方針」並びに「個人情報の保護に関する規程」及び「個人情報適正管理規程」が定められており、その内容を再確認する形で、研修が行われました。近年の傾向として、個人情報保護については、役員に限らず配りがなされているようです。

第七回理事会

令和三年三月二十五日午後一時三十分からセンター会議室で、第七回理事会（令和二年度最後の理事会）が開催されました。

主なテーマとしては、三年度事業計画・収支予算、三年度総会の開催方法、配分金見積単価改定、満足度調査アンケート結果等が、提案又は報告されました。

アンケート結果では、「満足」と「やや満足」を合わせると各項目で七〇九割を占めていました。総会開催方法については、コロナ禍の状況を見極めるため、新年度第一回理事会に決定を委ねるものとなりました。

令和三年度 第一回理事会

去る五月七日午後一時三十分からセンター会議室で、第一回理事会が開催されました。

主な内容としては、令和二年度事業及び収支決算報告、令和三年度定時総会の開催方法及び提出議案等について審議が行われました。折からの新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が各地で出される中で、昨年に引き続き今年度の総会も「書面議決による総会やむなし。」ということになりました。

またシルバーの活動に貢献された方は、総会で表彰されることになっていますが、総会が開催されないために、五月二十七、二十八の両日、各事務所にて表彰式を行う旨が決定されました。

第二回理事会

第二回理事会は、七月二十九日午後一時三十分、センター会議室で開催されました。

主な議題は「令和三年度安全・適正就業対策実施計画について」



でした。この議案は、六月二十四日に開催された安全・適正就業対策推進委員会で提出・承認されたもので、原案通り承認されました。また、例年、就業時の事故として最多のものは「蜂刺され」ですが、「蜂防止スプレー」を留意し、活用していただくこととしました。



安全・適正就業 対策推進委員会 開催

去る六月二十四日午後一時三十分より一関市シルバー人材センター会議室で、令和三年度第一回安全・適正就業対策推進委員会が開催されました。

その会議で発表された令和二年度の県内傷害事故発生状況については、全体で三十五件の報告がありました。内訳としては「蜂刺され」が、前年同様最大の件数を数え十三件でした。二番目に多かったのが「墜落・転落」で十一件、三番目は「転倒」で五件でした。

一関市シルバー人材センターでは「蜂刺され」対策として防虫スプレーを用意しました。蜂を見たらスプレー噴射で撃退すること！ですが、危険を感じたら「三六計逃げるに如かず」かもしれません。一関市内の傷害事故に限りますと、全体で八件、そのうち五件が「転倒・落下」でした。やはり足場の悪い現場が多いので、用心の上にも用心を重ねる、といった心構えが必要ですね。



安全パトロール実施

令和三年七月二十一日午前九時三十分から、一関地域を対象に「令和三年度安全パトロール」が実施されました。参加者は、佐藤拓平理事、石川シエ子委員、阿部静夫委員、鈴木修事務局長、菅原明美業務係長、大原基主事の六名でした。

当日は朝から暑く、昼過ぎには三十三度の気温となる中、特に熱中症に気を付けて働いている会員の方々のパトロールを実施しました。



最初に訪れた就業先は、自然体養村管理センターで、仕事内容は「屋内清掃」でした。

調査ポイントは、作業員の健康、作業危険箇所の確認・服装や道具の配慮等についてでしたが、ルールを守り、作業していました。

次の訪問先はひらの商事の厳美駐車場で仕事内容は「駐車場管理」でしたが、安全・適正就業ルールを守りながら、しっかりと作業していました。

最後の訪問先が、厳美公園で、仕事内容は「公園管理」でした。

広い公園を隅々まで管理していますが、ここでも皆さんしっかりとルールを守り、作業していました。



表彰式、特例で各事務所で挙行

新型コロナウイルス禍で、令和二年度及び三年度と二年続けてシルバー総会が開催できませんでした。

そして長年、御功績のあった会員・役員等の皆様を表彰させていただく場合は総会、と規程に定められており苦慮したわけですが、関係各位との協議の結果、令和二・三年の二ヶ年分を、各事務所で表彰させていただくことと致しました。

被表彰者の内訳は、表彰状受賞者は、会員在籍十年・役員在職十年。感謝状受賞者は、班長五年在職・役員五年在職・職員通算五年在職し退職した者となっております。

一関・花泉地区

表彰式は、令和三年五月二十七日午後一時三十分から、シルバー会議室で開催しました。

被表彰者は次の方々でした。

表彰状 (敬称略)

小野寺 孝喜、佐々木 清規
千葉 敏夫、佐藤 恭子
佐藤 初男、阿部 隆一



菅原 茂雄 (以上令和二年度)
及川 康雄、佐々木 博男
熊谷 雄一郎、佐々木 登志雄
遠山 姫子、小野寺 徳平
佐藤 アイ子、菅原 久一
阿部 静夫 (以上令和三年度)

感謝状 (敬称略)

班長五年
熊谷 雄一郎、佐藤 則子
加藤 善信、加藤 健治
高橋 トシ子、大槻 安行
役員五年
石川 シエ子、千葉 隆夫
和泉 建平
職員五年以上在職で退職した者
山田 和孝

大東地区

表彰式は、令和三年五月二十八日午前十一時から大東事務所で開催しました。

被表彰者は次の方々でした。

表彰状 (敬称略)

小山 敏明、菊池 憲一
小野寺 勝子 (以上令和二年度)

感謝状 (敬称略)

班長五年 小山 敏明

表彰式には、大東事務所管内の三名の受賞者のうち二名の方々にご参加いただきましたが、その他に小山淑江理事と三浦洋子事務所長、目黒祥子職員にも参加していただき、祝っていただきました。



なお、表彰する側として、桂田芳昭理事長、及び鈴木事務局長が参加し、表彰させていただきました。写真撮影は、鈴木裕子職員でした。

千厩地区

表彰式は、令和三年五月二十七日午後二時から、千厩事務所で開催しました。
被表彰者は次の方々でした。

表彰状 (敬称略)

伊藤 丈夫、畠山 敏幸
佐藤 光男、金野 健太郎
役員十年表彰

佐藤 拓平(以上令和二年度)
佐藤 利男、佐藤 洋子
菊地 秀雄、菊地 マス子
鈴木 美恵子(以上令和三年度)

感謝状 (敬称略)

班長五年
小山 芳徳

表彰式には、千厩事務所管内の受賞者のうち八名の方々にご参加いただきましたが、その他に菅原春江理事と松本高行事務所長にも参加していただき、祝っていました。

なお、表彰する側として、桂田芳昭理事長、及び鈴木事務局長が参加し、表彰させていただきました。
写真撮影は、鈴木裕子職員でした。



東山地区

表彰式は、令和三年五月二十八日午前九時三十分から、東山地域交流センターで、開催しました。
被表彰者は次の方々でした。

表彰状 (敬称略)

鈴木 健、阿部 武雄
大内 節郎、小野寺 ときの
岩 淵 己一、千葉 イク子
菅原 勝吉(以上令和二年度)
松山 茂、伊藤 昇市
小山 崧、小野寺 貞美
(以上令和三年度)

感謝状 (敬称略)

班長五年
鈴木 孝行(二年度)
吉田 孝男(三年度)
役員五年
小野寺 克子

表彰式には、東山事務所管内の受賞者のうち八名の方々にご参加いただきましたが、その他に吉田剛事務所長にも参加していただきました。

また、表彰する側として、桂田芳昭理事長、及び鈴木事務局長が参加し、表彰させていただきました。
写真撮影は、鈴木裕子職員でした。



地域班長・ 連絡員の交代

《敬称略》

◆一関・花泉地域

萩荘高梨班

【新】富士 力治 【旧】熊谷 一幸

萩荘東班

【新】佐藤 律衛 【旧】佐藤 玲子

中里南班

【新】千葉 晴夫 【旧】熊谷雄一郎

中里北班

【新】橋本 昭一 【旧】小野寺 力

舞川班

【新】小野寺充徳 【旧】佐藤 則子

◆千厩地域

清田二班

【新】元柏 清喜 【旧】千葉 忠一

◆東山地域

長坂西部二班 連絡員

【新】小野寺俊夫 【旧】鈴木 勝治

職群班長の交代

《敬称略》

◆一関・花泉地域

植木班第二班

【新】菅原富巳男 【旧】滝沢 甫司

◆千厩地域

草刈り第二班

【新】菅原 忠一 【旧】千葉 忠一



なかまの声

- ①入会のきっかけは？
 - ②入会前の職業は？
 - ③日頃から心がけていることは？
 - ④苦勞している点は？
 - ⑤どんな時にやりがいを感じますか？
 - ⑥座右の銘は？
- ※最後に、一言お願いします。



佐藤 光 男さん
(千厩)

- ①友達にすすめられて
 - ②大工
 - ③健康
 - ④特になし
 - ⑤お客様から感謝の言葉をかけられた時
 - ⑥努力することが好きです。
- ※けがをしないで健康でがんばる。



岩 淵 元 子 さん
(大東)

- ①シルバー会員の先輩からの紹介
 - ②老健施設での調理
 - ③無理をしない
 - ④人に迷惑をかけない
 - ⑤暑さ対策に苦勞しています
 - ⑥一つひとつの仕事が片付いてきれいになっていくとき
- ※趣味を大切に。手芸・ゴルフ・ドゴルフ(初心者です)。
※仕事ができることに感謝しつつ、皆さんと世間話で盛り上がり楽しく就業できることがうれしいです。



菊 地 光 伸 さん
(東山)

- ①知人からの紹介です
- ②団体職員として勤めていました
- ③報連相(報告、連絡、相談)ケガをしない、させない



菅 原 富 巳 男 さん
(一関)

- ①前の会社と同じ仕事をした
 - ②造園業のパート
 - ③時間を守ること・笑顔でいること
 - ④特にありません
 - ⑤お客様が『スッキリした。』と笑顔になったとき
 - ⑥お客様の庭を大事にし、丁寧な仕事をしてゆきたいと思
- ※電車で行くことが好きなので、楽しみながら生きてゆきたいと思

- ①前の会社と同じ仕事をした
 - ②造園業のパート
 - ③時間を守ること・笑顔でいること
 - ④特にありません
 - ⑤お客様が『スッキリした。』と笑顔になったとき
 - ⑥お客様の庭を大事にし、丁寧な仕事をしてゆきたいと思
- ※電車で行くことが好きなので、楽しみながら生きてゆきたいと思

会員活動だより

大東事務所

【環境整備ボランティア】

五月二十四日、事務所をお借りしている大東保健センターで除草と植木の手入れを行いました。

当日は、二十六人の会員が参加しました。

施設周辺の草刈りと片付け、家庭の雑草や植木も見違えるようにきれいになりました。社会福祉協議会大東支部さんから飲物の差し入れがあり、午前中元気に活動できました。



【今年の就業あれこれ】

新型コロナワクチン接種の影響が就業予定に支障をきたす中、会員の皆さんの協力により依頼者の要望に応えています。

一番大変だったのは横道配水池の環境整備、就業前とは雲泥の差です。

← 就業前



← 就業後



それと、就業後の写真撮影に行ったら、特別天然記念物日本カモシカに遭遇しました。しばし見つめあってしまいました。このように大東町は、クマやマムシにも普通に遭遇します。



千厩事務所

令和三年七月十四日に発注者である藤沢町の禅弓院の庭園の草刈り作業を会員四名で行いました。

作業終了後、小野寺法樹作業班長から体調の状況やヒヤツとしたことが無かったかなどの聞き取りを行いました。

作業前の点検等はもちろんですが、作業後に行う、このような聞き取りが次の作業を安全に行うことにつながると思われまます。



東山事務所

七月六日、十三日、市から受注の唐梅館総合公園(森林公園)の草刈りを行いました。作業を始める前、点呼を兼ね集合写真を撮ります。

事務所から朝礼で作業の予定、安全に作業を行うよう話しました。

その後リーダーから作業の範囲、現場での注意点、集団で入ることから距離を十分に取らうことなど細かく指示をしていました。また、こまめに水分補給をしながら体調管理に万全を期すよう



確認しました。ある会員からは「去年よりひとつ年をとっているから無理ができないからなあ。」と一同納得。機械の始業点検はもとより、自身の安全第一を再確認しながら作業に入りました。

草刈安全講習会開催

一月二十五日(月)午前十時からシルバー人材センター会議室で「草刈り安全講習会」が開催されました。講師は、やまびこジャパン株式会社、臼井俊輔先生でした。講習会前半は、安全読本によって十九項目にわたる安全作業の心得を解説していただきました。

その内容は、体調、服装、点検、そして多岐にわたる安全操作、などが語られました。それに関しての活発な質疑応答を経て、中休みの後、後半が始まりました。

草刈り作業の傷害については、医療機関ネットワークに寄せられた情報の集計では、身体の部位別で顔面の一八%を除いて、手足が圧倒的に多く八二%を占めていたということです。

年齢別では六十代、七十代が群を抜いて多いとのこと、シルバー年代だな、との思いを強くし、安全就業の大切さを痛感しました。

総じて、講習内容は専門性が高かったにも拘らず、受講者も玄人はだしであったためか、講師との遣り取りもスムーズで、静かでありながら盛り上がりを見せていました。



安全講習会開催

二月八日(月)午前十時から、シルバー人材センター会議室で、一関保健センター職員、佐藤由子氏を講師に迎え、「新型コロナウイルスに対する心構え」及び「自殺者の抑止」というテーマで、講演していただきました。

佐藤先生のお話は、とても判りやすく、一同は最後まで熱心に聴講していました。講演前半の新型コロナウイルス関連のお話では、手洗いの徹底、不急の外出自粛等、国民が新型コロナウイルス予防生活姿勢を貫いた効果であるためか、良い副産物として「インフルエンザが激減」し、病院に閉古鳥が鳴いているとのことでした。病院経営の観点はともかく、市民の皆様にとっては、良いことなのかな、と思いました。

講演後半では、残念ながら東北地方に多い自殺防止がテーマでした。「ゲートキーパー養成講座」という資料を基に、一関市自死対策事業における自殺防止の取り組み事例等が紹介されました。

平成三十年度の統計では、十万人当たりの平均自死者数は、全国よりも岩手県、岩手県よりも一関市(二十二・三人)の順に高くなっ



ており、一関市の自死が多い結果となっております。そんな(例えば沈んだような)様子の方に遭遇したら、相手を励まさず(励まされると追いつめられる事もあるとのこと)、話を聞いてあげることには徹した方が良いでしょう。

交通安全講習会開催

令和三年二月二十二日、午前十時から、シルバー人材センター会議室で、一関警察署交通課企画係長 久保達也氏を講師に迎え、「交通安全講習会」を開催しました。

まず昨年の一関市の交通死亡事故件数ですが六件とのことでした。事故を防ぐポイントとして、「補償運転」が挙げられました。

それは「雨天時や夜間、体調が優れない時は運転を控える。」という風に、安全運転のために交通事故のリスクを避ける運転をすることです、等の説明がなされました。

講習会後半は、受講者の前方に掲示されたシミュレーターを見ながら、運転シミュレーションを各人が行い、配布された操作ボタンにより、危険と感じた瞬間にボタンを押すという実技訓練的なことを行いました。この訓練では、普段見逃されがちな運転上の注意点等が再認識される機会となり、各人納得の様子でした。

講習会最後には質疑応答の時間が設けられ、一関市内の各地の交通の通行方法や疑問点等が挙げられ、講師先生はそれらに明快に回答していました。



接遇研修会開催

二月二十六日(金)と三月四日(木)の二回に分けて、午前十時からシルバー人材センター会議室で、主に一関市の施設で働いていただいている会員の皆様を対象に、接遇研修を開催しました。この研修は、一関市からの要望等を反映し実施したものです。

講師は、当センターの桂田芳昭理事長でした。

講習会前半は、接遇マナーの五原則の説明や接遇動作の実践等の解説が行われ、会員は熱心に聞き入っている様子でした。

講習会後半は、質疑応答でした。主な話題としては、「緊急事態の対策を講じて欲しい。」

「市へ直接連絡しないようにとのことだが、いかなる場合にもシルバーに連絡するのか?」

「公園の雪かきをしているときに個人から自分の家の前の雪かきをしろと言われたが、どうすればよいのか?」

等々、の質問がありました。

市の施設の管理については管理仕様等に従い、それ以外では市民の良識で対応するのが適切であろうと感じられました。



植木講習会実施

令和三年三月二十三日(火)午
 前九時から、一関遊水地記念緑地
 公園を会場に「植木手入れ講習
 会」が開催されました。参加者は、
 二十名を数えました。当日は少し
 肌寒い気温でしたが、晴天に恵ま
 れ、穏やかな日和となりました。



講師は、植木班のベテラン班長、
 加藤善信先生でした。
 最初の二十分は、花芽分化期と
 剪定時期について座学講習会を行
 いました。皆さん、十分に学んだ
 ところで実技指導に入ってゆきま
 した。
 実技指導は、植木班のベテラン
 とその他の人々に分かれて行われ



ました。ベテラン組は、少し難し
 い竿ヒバの手入れを習い、あとの
 人たちは、少し容易な松の手入れ
 を習いました。
 剪定のコツは、伸びすぎた枝、
 不要な枝の除去等であるわけです
 が、その見分け方や判断基準等に
 ついて、とても熱心に学んでいま
 した。
 講習会が終わっても、受講意欲
 は衰えることなく、『この講習会
 は、ぜひとも毎年やったほうが良
 い。』という声が聞かれました。
 一関市シルバー人材センター
 は、こうした声に応えるべく、今
 後も毎年植木講習会を実施して
 参ります。

令和2年度事業実施状況

	実 績			各事務所毎実績				
	2年度	元年度	比較	一関	大東	千厩	東山	
会 員 数 (人)	479	486	△ 7	245	53	120	61	
就 業 人 員 (人)	381	408	△ 27	186	42	100	53	
就 業 延 人 員 (人)	25,724	26,724	△ 1,000	13,410	2,144	6,972	3,198	
受 注 件 数 (件)	3,702	3,739	△ 37	1,953	369	838	542	
契 約 金 額	配 分 金 (千円)	133,129	129,795	3,334	65,013	14,172	31,570	22,374
	事 務 費 等 (千円)	22,302	19,470	2,832	11,617	2,144	5,104	3,437
	計 (千円)	155,431	149,265	6,166	76,630	16,316	36,674	25,811
就 業 率 (%)	79.5	84.0	△ 4.5	75.9	79.2	83.3	86.9	

事務局だより

短歌・川柳



雑詠三題

佐々木文子 (二関)

食細き 息子等への思い 染みており
メタボになりても 食わせたき我

(令3,1)

世が変わる 如きの爆音 重機群
先祖伝来の土地 跡形も無く

(令3,3)

(西黒沢耕地にも大型圃場への「基盤整備事業」が入り、連日地響きを立てて、重機群が……我が家の田んぼが……)

ホームレス ベンチだ等と 名付けたる
亡夫愛用の ベンチの温き

(令3,4)

藤倉 守 (一関)

高齢者

服用の数

自慢する

寡黙でも

コロナ談義で

間を持たす

カラ元気三首

鈴木 修 (二関)

陽光に 映える黒髪 燃え恥じて
春の息吹が 夏の炎が

梅雨空を 突き抜ける汗 心地よく

心弾ませ 夏に飛び込む

真夏日を 振り払う如き 速足で

汗諸共に 消えしアンニュイ

(倦怠)

事務局職員の紹介

- 事務局 局長 鈴木 修
- 事務局 次長 小山真利子
- 業務 係長 菅原 明美
- 業務 係 主事 大原 基
- 庶務 係 主事 千葉由美子
- 庶務 係 主事 若槻 恵
- 臨時 職員 長崎 康藏
- 臨時 職員 阿部 一夫
- 臨時 職員 鈴木 裕子
- 大東 事務所 長 三浦 洋子
- 千厩 事務所 長 松本 高行
- 同 臨時 職員 畠山 要
- 同 臨時 職員 佐々木辰男
- 東山 事務所 長 吉田 剛
- 同 臨時 職員 小原 徹

七月八日会報部会参加者

(前列右から・敬称略)

- 理事 長 桂田 芳昭
- 理事(委員長) 佐々木慶治
- 理事(副委員長) 小野寺良信
- 会 員 新田 文男
- 会 員 石川シエ子
- (後列右から・敬称略)
- 大東 事務所 長 三浦 洋子
- 千厩 事務所 長 佐々木辰男
- 東山 事務所 長 吉田 剛
- 事務局 長 鈴木 修
- 庶務 係 主事 千葉由美子
- 庶務 係 主事 若槻 恵



編集後記

当センターに勤務し早三カ月、日頃の運動不足を解消すべく始めたのがウォーキングです。出勤時間を一時間早めに設定し、朝の涼しいうちに歩くことにしています。地元が一関でない私にとって、センターから駅に向かう道ひとつとっても新鮮で、様々なコースを開拓していくうちに一関の地理(と云っても近場ですが)にも詳しくなっているような気がします。また、以前通った時には草が

(若槻 恵)



桔梗の花言葉・気品、誠実

茂っていた場所が後日きれいに刈り取られており、「もしや会員さんのお陰？」と職業柄結びつけることも多々あります。大きな感謝の気持ちと程良い運動で、心身共に健康でいられることを実感しています。